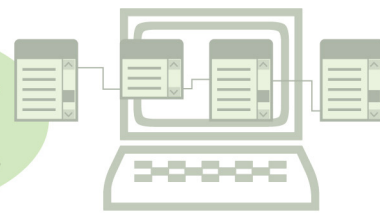


## ❖ 検定試験のねらい

データベースソフトの利用を通じて、  
情報処理能力を身につけることを  
目的として実施。

データベースなどを使い、  
複数のデータから欲しい  
情報を取り出したり、  
整理することができます。



## ❖ 試験実施日(年4回)

- ① 7月第2日曜日 ② 10月第2日曜日 ③ 12月第2日曜日 ④ 2月第4日曜日

●試験日は届出により前後10日間の移動が可能です。

## ❖ 試験会場

本協会指定会場

- 申し込みのあった各大学、各学校および教室が試験会場校となります。
- ただし、原則として受験者が10名以上であることを要します。

## ❖ 受験料

1級	2級	3級	4級
3,000円	2,500円	2,000円	1,500円

## ❖ 試験基準

◎出題基準・試験時間は下記の表のとおりとする。

級	出題内容	試験時間
4 級	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ テキストデータの読み込み</li> <li>○ テーブル定義(主キー・データ型の設定)</li> <li>○ 複数テーブルの関連付け(内部結合)</li> <li>○ レコードの抽出</li> <li>○ レコードの昇順・降順の並べ替え(ソート)</li> <li>○ 表題・見出し等の入力</li> <li>○ 表示形式(コンマ・小数点・%・通貨・日付など)</li> <li>○ 表のレイアウト</li> <li>○ 罫線処理</li> <li>○ 印刷処理</li> </ul>	20分
3 級	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 4級基準を含む</li> <li>○ 複数条件によるレコードの抽出</li> <li>○ 複数条件によるレコードの昇順・降順の並べ替え(ソート)</li> <li>○ 計算式</li> <li>○ 関数処理(合計・平均・最大・最小・カウント)</li> <li>○ グループ化(集計)での合計・平均・最大・最小・カウントの処理</li> </ul>	30分
2 級	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 3級基準を含む</li> <li>○ 複数クエリの作成</li> <li>○ レコードの更新・追加・削除</li> <li>○ 項目名ごとのグループ化</li> </ul>	30分
1 級	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 2級基準を含む</li> <li>○ 結合の種類(外部結合)</li> <li>○ クロス集計</li> <li>○ NZ関数</li> <li>○ 重複・不一致レコードの処理</li> <li>○ クエリによるテーブルの作成</li> <li>○ その他応用</li> </ul>	30分

☆問題に使用している会社、組織、製品、人物、キャラクタ、データなどの名称は架空のものです。実在する商品名、団体名、個人名などとは一切関係ありません。

データベースソフトを使用し、処理条件に従ってレポートを作成します。

**問題**

平成●●年度 第△△回 情報処理技能検定試験 (DB) 2級問題

＜問題＞

1. テキストデータ「日本語ソフト」1S、CSV形式を使用してデータベース定義を基にテーブルを作成し、＜処理条件＞に従って出力例＞のような表を作成し、印刷しなさい。  
実行は左側表、数値は右側表とし、3桁ごとにコンマをつけること。
2. テキストデータは1000ファイル内のデータを使用する。
3. 試験時間は30分とする。ただし、印刷は試験時間外とする。

＜テーブル定義＞

得意先マスタ	項目名	データ型	データ例
得意先CO	得意先名	長整数型	1
得意先CO	得意先名	テキスト型	カトー事務機

※得意先マスタ.csvの1行目は項目名とする。

受注テーブル	項目名	データ型	データ例
得意先CO	受注額	長整数型	111
得意先CO	割引額	長整数型	111
受注額	受注額	長整数型	24

＜商品マスタ＞

得意先マスタ	項目名	データ型	データ例
得意先CO	品番	長整数型	110
得意先CO	品名	テキスト型	レポートファイル
得意先CO	単価	長整数型	300

※商品マスタ.csvの1行目は項目名とする。

＜処理条件＞

1. <商品マスタ>の品番が400番目のレコードの単価に20を加算し、更新しなさい。
2. それぞれの得意先CO・品番を指定しなさい。  
得意先CO・品番ごとに受注額・割引額・売上額を求めなさい。  
受注額＝単価×受注数 割引額＝受注額×0.1 売上額＝受注額－割引額
3. 得意先CO・得意先名ごとに受注額・割引額・売上額を合計(合計)しなさい。
4. それぞれの合計を求めた表を作成しなさい。  
表題は「得意先別売上一覧表」とする。  
データの並び順は売上額の降順とし、表の形式は＜出力例＞のとおりとする。

＜出力例＞

得意先CO	得意先名	受注額	割引額	売上額
2	斉藤商事	676,310	67,631	608,679
6	佐藤工務店	30,240	3,024	27,216
合 計		1,700,220	170,022	1,530,198

**処理条件**

**出力例**

問題用紙

検定に使用するデータは当協会ホームページより  
ダウンロードしていただきます。

データ データ データ

テーブル

データをテーブルに読み込みます

クエリ

処理条件に従ってクエリを作成します

解答

レポート

得意先別売上一覧表

得意先CO	得意先名	受注額	割引額	売上額
2	斉藤商事	676,310	67,631	608,679
3	株式会社ゴト	282,110	28,211	253,899
8	ライオン堂書店	260,390	26,039	234,351
7	オクムラ食品	143,660	14,366	129,294
1	カトー事務機	114,710	11,471	103,239
5	浜村商会	105,930	10,593	95,337
4	和泉商店	86,870	8,687	78,183
6	佐藤工務店	30,240	3,024	27,216
合 計		1,700,220	170,022	1,530,198

レポートを作成します

印刷

## 用語説明

**テーブルとは？**  
情報を蓄える  
場所を指します。

**クエリとは？**  
条件に合わせて情報を抽出する機能を指します。  
各テーブルから必要なデータの抽出やデータの加工処理  
(追加・削除・更新など)を行い作成するものです。

**レポートとは？**  
様々な形で報告書を  
作成する機能を指します。